プロジェクト課題活動実績

課題名:農業中核経営体の育成

長門農林水産事務所農業部 担当者氏名:向野美緒、品川貢、岡田知子、西村昂将中村明子、加藤博之、松冨和海、久保雄生来島永治、藤本倫太郎、中野良正

<活動事例の要旨>

長門市では、法人経営体に加え認定農業者をはじめとする個人農家も貴重な担い手として地域農業を守っている。一方で、農業従事者の減少・高齢化が深刻化する中、若者を中心とした農業構造の確立が急務となっている。

そこで、今後の長門地域の農業を牽引し、雇用の受け皿ともなる農業中核経営体の育成 に向けて、法人化(一戸一法人)と経営体の雇用確保を支援した。

今年度、2者が法人を設立。1者が法人化を見据えた円滑な経営承継に向け、後継者を 交えて検討中である。

1 普及活動の課題・目標

(1)課題の背景

長門市では、集落営農法人等の農業中核経営体が地域農業の維持・発展に寄与している。また、集落単位で農地を守ることが難しい地域では、認定農業者をはじめとする個人農家が貴重な担い手として地域農業を守っている。

一方で、農業従事者の減少・高齢化が深刻化しており、地域で核となる人材を中核 経営体として育成するとともに、若者を中心とした農業構造の確立が急務である。

(2)目的

今後の長門地域農業を牽引し、安定的な雇用の受け皿ともなる農業中核経営体を育成し、地域農業の担い手を確保する。

(3) 目標(目標年度:令和4年度)

農業中核経営体:45 経営体、集落営農法人:30 法人

2 普及活動の内容

(1) 法人化支援

ア A氏〈長門〉

- ・円滑な事業承継に向け、外部雇用を見据えた社会保障等労働環境整備の面から 山口県農業経営・就農支援センターの専門家派遣(以下、専門家派遣)を行い、 社会保険労務士・税理士・司法書士を含めた体制で、法人化に関する指導・助 言を受けた。
- ・経営は兄弟2名で親の経営を引き継ぐ計画としているため、組織体制(兄弟・家族間の権利のバランス等)及び承継の留意点など、より有利な形で法人化できるよう検討を進め、令和5年3月1日に法人を設立。

イ B氏(油谷)

- ・令和4年4月1日に法人設立。父親から法人への資産の移譲方法や日本政策金融公庫からの青年等就農資金借入等を支援した。
- ・㈱長門西との法人間連携(小麦防除・施肥作業・収穫)、(一社)アグリながとと

- の法人間連携(大豆播種等)体制の構築を進めた。
- ・法人の新規就農計画作成を支援するとともに、補助事業による、乾燥機(3台)、大豆・麦播種機の整備を支援した。

ウ C氏〈長門〉

- ・経営承継の不安や不明点を解消するため、専門家派遣を行い、経営承継及び法 人化に関する指導・助言を受けた。
- ・経営承継にあたっての懸案等について、親子同席のもとで協議を進める中で、 法人化の必要性が認識された。
- (2) 中核経営体の雇用確保支援

従業員の受入に係る取組では、経営状態を考慮した採用計画を検討し、就業希望者に対する広報及び募集活動を効率良く行う必要があることから、次の支援を行った。

- ・個々の法人による募集活動と併せ、長門大津地区農業法人連絡協議会が主導する リクルート活動を提案した。法人協構成全法人の意向を聞き取り調査により確認 し、雇用意識の強い6法人(9名)による農大生への募集説明会の実施を支援し た。
- ・また、採用した従業員を法人で育て、事業承継を進めている法人の経営者を招いた研修会を開催し、受入前に地域及び法人が果たす役割、従業員を育てる際に経営者が留意するポイントを、参加した8法人(11名)と共有した。

3 普及活動の成果

(1) 目標に対する実績 [目標値(令和4年度)・令和4年度末現在]

農業中核経営体 [45 経営体 ・ 49 経営体]

集落営農法人 [30法 人 ・ 31法 人]

(2)農業中核経営体の育成

ア 新規法人設立(2者)

(株) D; 令和4年(2022年)年4月(B氏が法人化)

(株) E; 令和5年(2023年)年3月(A氏が法人化)

- イ 法人化予定(1者)
 - ・円滑な経営承継を見据え、令和5年度中の法人化を目途に協議中(C氏)
- (3) 雇用者確保に向けた機運醸成
 - ・就農及び就業希望者を受入れる際の活動体制について、長門市、長門大津地区農業 法人連絡協議会及びJAと協議・共有したことで、担い手確保に向けた体制が明確 になり、各機関・団体が協力した受け皿づくりへの機運が浸透しつつある。

4 今後の普及活動に向けて

- ・地域農業を守るためには、担い手を中核経営体として育てるとともに、既存の法人が自ら発展できるよう、従業員等の安定的な確保と育成に向けた仕組みづくりが重要となる。
- ・長門市や長門大津地区農業法人連絡協議会、JA、農業関係高校及び農業大学校などと緊密に連携し、長門地域で受け入れた就農・就業希望者が安心して就業し、活躍できる環境をつくれるよう支援していく。